



地域の概要及び課題

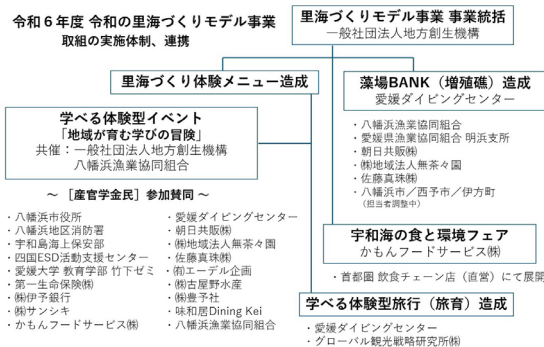
【資源】

- 太平洋の黒潮と瀬戸内海の栄養豊かな潮が交じり合うリアス式海岸の好漁場。佐田岬半島宇和海県立自然公園
- マダイ、アジ等の青魚を始め、シラス船曳網漁によるシラス、更に柑橘王国としての柑橘類と農林水産業が盛んな地域

【課題】

- 海藻が温体系から熱帯系へ、更にサンゴの群落へと置き換わりが進み、生物多様性の変化と共に農林水産業の衰退
- 藻場の再生/創生/養殖、気候変動適応対策の普及啓発

取り組みの実施体制、連携



R6年度モデル事業における取組内容および成果

藻場BANK（増殖礁）造成

- 藻場増殖礁にてクロメの再生/創生の実証実験の定期モニタリング



広域に着床した新芽

【成果】

種苗付きROPE

遊走子が水深8～17m 35m先まで飛散、新芽の繁茂が確認され、雌雄配偶体の培養実験へ発展。



学べる体験型イベント

- 魚市場にて、多様な主体と連携したESDとCSV経営を併せた催事



【成果】

地域の未来の担い手を育み、社会や環境に貢献しつつ経済価値も向上と共通価値を創造。CSV経営を基盤とした共創の社会づくりの基盤を構築。



環境教育旅行の造成／旅育

- 事前オンライン学習を取り入れた学べる体験型教育旅行の造成



環境教育動画/事前学習

【成果】

気候変動適応教育・海洋教育・農育・食育など、地域資源を活用した学べる体験型の環境教育旅行の造成を多様な主体と連携、構築できた。



地域産品の販路拡大支援

- 首都圏の飲食チェーンにて、宇和海の食と環境フェアの実施



【成果】

地域産品の販路拡大支援と併せて地域をPR、更に売り上げの一部を地域の環境保全(藻場造成づくり)に還元される好循環な体制づくりを行った。



今後の課題および 取組方針

- 気候変動の最前線地域とも称されるほどに藻場の減少と共に南方化の進行が著しく、藻場の再生/創生/養殖と気候変動適応対策、ブルーカーボンへの取組の広域化と周知啓発、質の高い環境教育の継続、多自然型居住地域における環境保全意識の醸成。
- 「地域が学ばば、地域が育つ」と称されるように、多様な主体との連携にてESDに取組、CSV経営へと変革・雇用機会の場の創出。
- 学べる体験型イベントや多様な環境教育旅行(旅育)の造成・実施と地域産品の販路拡大支援の継続。クロメを使った商品開発。